



ヒーローズ おかやま

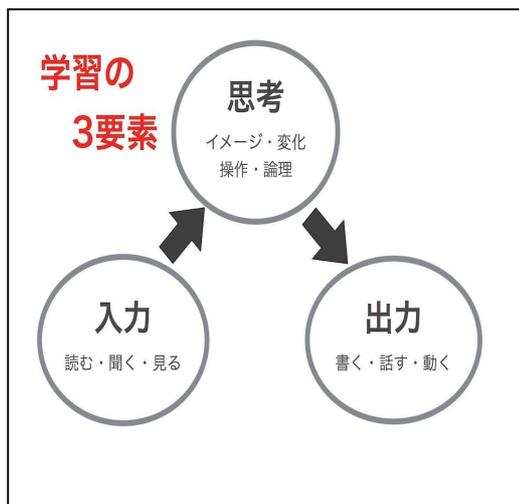
2021年7-8月号

量を質に変える夏期講習

30	金	
31	土	
1	日	休校
2	月	8月 第17週
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	休校 山の日
9	月	8月 第18週
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	休校 (通常授業9月4日振替)
14	土	休校
15	日	休校
16	月	休校 (通常授業8月30日振替)
17	火	8月 第19週
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	休校
23	月	8月 第20週
24	火	倉敷市公立中始業式
25	水	倉敷市公立小始業式
26	木	
27	金	
28	土	岡山県公開模試(妹尾・茶屋町) 小学生算数検定
29	日	岡山県公開模試(庭瀬)
30	月	8月16日振替日 県立中始業式
31	火	休校(通常授業はありません)
1	水	9月 第21週
2	木	
3	金	
4	土	夏期講習(中学受験)茶屋町校 8月13日(金)通常授業振替日
5	日	休校

ヒーローズの塾生のみなさん、保護様方、こんにちは。
東京五輪開幕前、専門家の言う通り感染者数がまた増えてきました。
コロナ禍2年目の夏は昨年と違い6週の夏期講習で2学期への飛躍に向けてそれぞれの教科の土台を作っていきましょう。

さて、夏になると受験生には『夏休みを制する者は受験を制す。』と言われます。“制す”とは成績が上がるということです。ただ実際は成績が上がる生徒さんは感覚値ですがよくて4割でしょう。夏期講習をしっかりとったのに・・・と怨嗟の声が聞こえてきそうです。“とる”だけではもちろん成績は上がりません。成績が上がる生徒さんは必ず、授業分の時間数の復習(自学自習)をきちんとしています。(時間数には個人差はあり



ます。)。そもそも授業は“見る”や“聞く”がベースで単なる入力に過ぎません。成績を計るのはテストですから思考を経た出力(問題を解く)の練習をしないと結果は(成績があがる)出ません。そのおかげで4割は結果が出て成績が上がり逆に4割は下がる

生徒さんも出てきます。残りの2割程度は現状維持。それが夏休み明け9月ごろからはっきりと表面に出てきます。夏期講習はあくまで思考のきっかけに過ぎません。出力(自学自習)を頑張りましょう。

8月13～16日、8月31日は休校です。

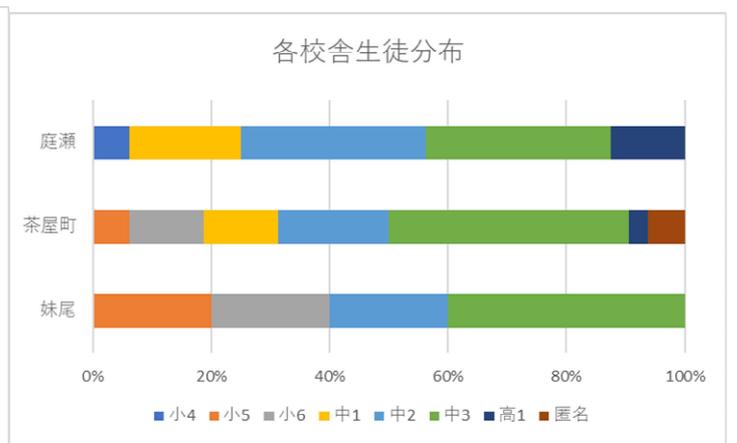
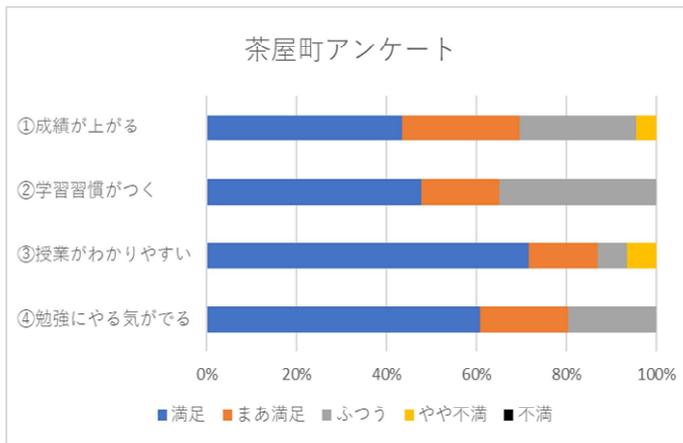
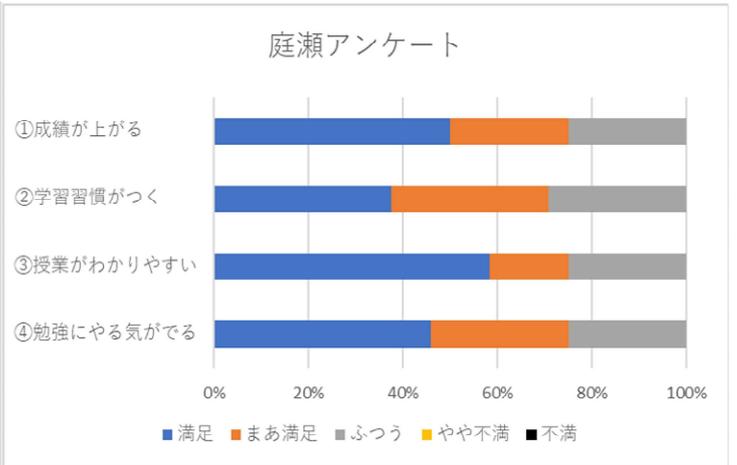
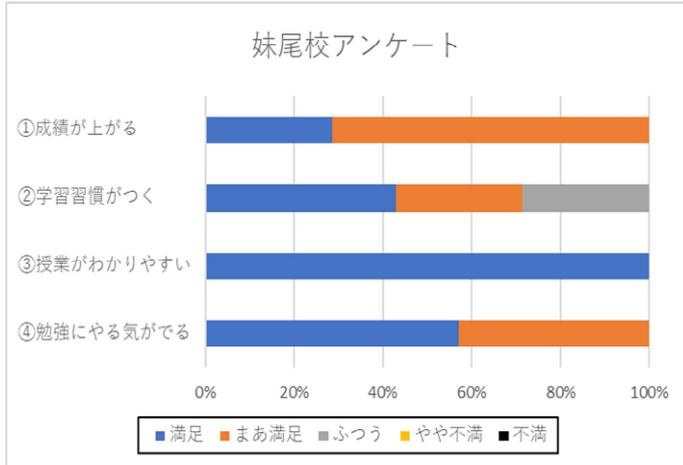
8月13日(金)の通常授業は9月4日(土)へ。16日(月)は8月30日(月)へ振替です。ご都合の悪い方は個別に対応しますのでお知らせください。8月30、31日の月火は通常授業はありません。

9月通常授業は1日の水曜日から開始します。

9月第1週授業は9月1日(水)から開始します。
9月からは水曜日が週の起算日になります。

アンケートから課題が見えてきました。ご協力ありがとうございます。

各教場アンケートグラフ



アンケート回収率 妹尾 13%、庭瀬 53%、茶屋町 38%

皆様の声

字が読みにくいのでもう少しきれいに書いてほしい(小6男子)

読みやすく書くようにします。

すぐにテキストではなく最初に詳しく説明してほしい(中2女子)

初見の単元では、あってはならないことです。改善します。

ホワイトボードを使ってほしい。(中1女子)

使っていきます。とくにコロナ禍なのでマスク越しでは、聞き取りにくいはずです。

文章の理解もイマイチですが、問題をあまり読まないで思い込みで答えることが多いので、ちゃんと読んで理解の上で答えるようにしてほしいです。(保護者様)

“読みたくない”というのが生徒さんの本音だと思います。いっしょに読んで何を問われているのか理解させる必要があります。生徒さんはとにかく早く解き終えたいという気持ちでいっぱいです。指導環境なども検討します。

【妹尾】“授業がわかりやすい”は高いものの、成績上昇の割合が低いようです。「わかる」と「できる」は違います。自分でもう一度やる反復の指導が必要です。課題量を増やす、定着の確認を行うなどで復習の頻度を増やします。

【庭瀬】“成績が上がる”の割合は高い結果です。一方で、“勉強にやる気ができる”の割合が低い傾向にあり生徒さんの2極化が読み取れます。満足度の低い生徒さんに対しては指導方法の見直しや補習の検討を行います。

【茶屋町】“学習習慣がつく”では高い評価です。自学自習の習慣がある生徒さんは成績が向上しています。自習スペースの広さなどの茶屋町校の環境面も奏功しているかもしれません。一方で自学を押しすぎて“説明不足”という意見も複数ありホワイトボードの使用や質問シートの活用などを促しつつ、我々の授業力(説明力)の向上も喫緊の課題です。